

資料2

西東京市公民館運営審議会
令和7年度第8回定例会

令和7年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和8年1月28日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	乳幼児をもつ母親のための講座 1人で頑張りすぎない初めての子 育て～心と暮らしを整える～	5月28日から 11月12日 水曜日・日曜日 10時から12時 全17回	延べ88人	家族優先の子育て中の女性が自分 について改めて考え、自分の中にある 思考を整理し整えることで家の暮ら しも整えていく。最後に厳選した写 真を使いコラージュ作品をつくり全 員で鑑賞を行った	藤田潮:and Cs代表。国際連盟プロ フェッショナルサーティファイドコー チ 梶木あきこ:整理収納アドバイザー。発 達支援教育士 西村菜穂子:アート&クラフトDUO認定 講師。日本デコラージュ協会クラフト マイスター
2	芝久保	子育て中の人のための講座（保育 付き） 明日に向かって、自分再発見 ～色と言葉の力で新たな一歩～	2025年5月22日から 9月11日（木曜日） 9月30日（火曜日） 10月15日（水曜日） 10時から12時 全13回	延べ69人	・アサーティブトレーニング等で自 分も他者も大切にしながら、自分の 思いを適切に伝える方法などを学ん だ。 ・絵本を通して、子ども独自の視点 を大切にすることや、大人自身の絵 本への向き合い方を学んだ。 ・ペアワークやグループワークを通 して自分を客観的に捉え、強みを考 えたり、自分が大切にしている価値 観を認識したりすることで、自己理 解を深め、将来ありたい自分をイ メージし実現するために必要なこと を考えた。	松岡年（NPO法人ウイメンズ・サポー ト・オフィス連 理事） 浅野由子（日本女子大学 家政学部児 童学科准教授） 甲斐聖子（日本女子大学 家政学部児 童学科助教） 浜田有里恵（（株）キャリア・マム コ アラーキング coco プレスイキキュベーションマネージャー）
3	芝久保	教養講座 音楽でつながろう♪はじめての コーラス	5月23日から 10月24日 金曜日 10時から11時45分 全8回 （10/26（日）芝久保 公民館まつり）	延べ154人	・初心者でもわかりやすく発声の基 礎を学び、声を合わせて歌う楽しさ を味わうことを通じて地域の仲間と 交流する機会となった。 ・芝久保公民館まつりで最終演者と して歌いきることができた。	中村佳子（国立音楽大学音楽学部音楽 教育学科卒業、マリンバとのデュオ 「Sachika」主催）
4	芝久保	第42回芝久保公民館まつり	10月25日（土曜日） 10月26日（日曜日）	延べ935人	実行委員会での話し合いを積み重ね 「みんなで楽しむ芝久保公民館まつ り」というキャッチフレーズのもと、 各団体が日頃の活動の成果を発表 するとともに、子どもも大人も楽し める体験会やイベントを開催した。 芝久保公民館を中心に活動する サークルや関係団体と地域住民の交 流できる貴重な場となった。	

5	芝久保	高齢社会の課題を考える講座 いくつになってもこのまちで私らしく暮らすために	11月18日 11月25日 12月2日 火曜日 10時から11時45分 全3回	延べ38人	<ul style="list-style-type: none"> ・年をとっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域の福祉の現状や、高齢者の生活支援の取り組みについて学び、今自分がやっておくべきこと等をグループで話し合った。 ・地域で活動している方が、具体的にどのような取り組みをしているか直接聞き、地域活動を身近に感じてもらう機会となった。 ・「新しい認知症観」を知り、正しい知識が重要なことや、自分が当事者となった場合のロールプレイングをし、それぞれ感じたことを発表した。 	安岡厚子（特定非営利活動法人サポートハウス年輪理事長） 西原自然公園を育成する会（池田干城・浦野政子・田村久教） 田村智美（薫風会山田病院 認知症疾患医療センター 認知症看護認定看護師） 西原町地域包括支援センター職員
6	芝久保	サロンコンサート 冬空に響くトランペット～芝久保公民館が誇るコンサートグランドピアノとともに～	12月14日 日曜日 10時30分から11時30分	延べ44人	<ul style="list-style-type: none"> ・（旧）西東京市民会館から移管されたコンサートピアノを活用し、公民館という身近な場所で本格的なコンサートを行い、誰もが参加しやすい演目で日常に音楽の癒しや喜びを届ける機会となった。 ・コンサートグランドピアノやトランペットを身近に見ることにより、大きさや質感質量を感じ、普段聞く機会の少ない古楽器の音色を実際に体感する貴重な機会を提供することができた。 	平井志郎（トランペット）（東京芸術大学卒業。同大学院修了。東京バツハカンタータアンサンブルメンバー、西東京を拠点として活動しているアンサンブル東風のメンバー） 山崎早登美（ピアノ）（東京芸術大学附属高等学校、同大学を経て、同大学院修了。東京音楽大学弦楽科非常勤講師。）
7	谷戸	インクルーシブな社会をめざす講座 音を感じて動くフリーダンスの世界	11月15日から 12月13日 土曜日 14時から16時 全5回 ※12月13日のみ午後1時半～午後3時	延べ64人	障がいの有無に捉われず誰でも一緒に踊ることが出来る「ダンス・ダイナミクス」の手法を取り入れ、グループ、ペア、全員など様々な単位で個人個人のイメージに基づいて踊る。例えば「ソフトクリームが溶けてまた復活する」などを身体を使って表現する。グループで行うことで、結果として芸術的に見える面白さを体験した。タンバリン、スズ、トライアングルなどの楽器を使い、みんなで鳴らしながらダンスを作ることも体験した。	松延まき子（MAKIバレエスタジオ DANCE・FREEDOM主宰）
8	ひばりが丘	子育て中の人のための講座（保育付き） 子どもの声の聴き方、伝え方のヒント 子育ての不安や負担を減らすコミュニケーション	10月25日から 11月30日 10時から12時 11月30日のみ12時半まで 全4回 ※10月18（土曜日）保育説明会、※1月9日（金曜日）継続学習会	延べ55人	発達障害児者支援、母子（親子）支援、親同士の学習の支援の実践から、子どもの行動や困りごとの背景にある「感覚の特性」や対処法、親子の力関係、地域の子育て支援について学び、自分自身の子育てをふり返り、子育ての「正解はひとつではない」こと、「答えは子どもの中にある」ことを学んだ。	平 雅夫（星槎大学教授、一般社団法人「カラフル NIPPON」代表理事） 富樫 京子（臨床発達心理士SV、一般社団法人「ぼろんのいえ」代表理事） すわ れいこ（シェアリング・ラーニング共同代表、社会教育士） 城田 美好（早稲田大学大学院文学研究科助手、元保育士）

9	ひばりが丘	子どもと保護者の学習・体験講座 プラネタリウムシアター ～親子で聴きたい宇宙のはなし～	12月20日 土曜日 ①10時から10時40分 ②11時20分から12時 2回	延べ100人	親も子ども天体に関する関心を高め、知識を深めるような学びの機会をつくった。講師の解説を聞くとともにピアノとシンセサイザーによる生演奏を聴くことで、幻想的な世界を体験する機会を提供した。親子で天体に関する共通の話題をもち、星空を見上げて語り合うきっかけをつくった。	野田 祥代（あいプラネット代表、理学博士） 渡辺 好美（作編曲家、ピアニスト）
10	保谷駅前	人権講座 多様性を大事にする社会に向けて ～だれもが幸せに～	9月20日、27日 10月4日、11日 土曜日 10時から12時 全4回	延べ56人	・当事者から耳の遠い人との会話のヒント、先住民アイヌの歴史や文化などを体験やグループワーク・発表をとおして、より深く知り、人権を自分ごととして考えるきっかけとなった。 ・人権先進国としてのスウェーデンの様々な取り組みや無理解から生じる差別や偏見を学び、多様性を受け入れ、誰もが幸せに暮らせる社会、人権尊重社会を実現するためのヒントを学んだ。	浅野由子（日本女子大学 家政学部児童学科准教授） 宮谷真紀子（CLEAR JAPAN 代表） 上瀬由美子（立正大学 心理学部教授） 宇佐照代（AYNU RUTOMTE 代表）
11	保谷駅前	第16回駅前フェスタ2025 ～駅前フェスタ 見どころてんこ盛り～	10月18日（土曜日） 10月19日（日曜日） 一部展示 10月18日（土曜日） から24日（金曜日）	延べ715人	団体の中の有志の方々からなる実行委員会を中心に参加団体全体で共に創り上げる地域イベント。日頃の成果の発表や参加者同士のつながりを形成していく機会として実施した。	
12	保谷駅前	【共催事業】 地域講座 瞽女唄が聞こえる ※高橋家屋敷林保存会との共催	11月13日 木曜日 ①11時から12時 ②14時から15時 2回	延べ51人	地域を知る機会となるように、下保谷四丁目特別緑地保全地区「高橋家母屋」で実施。下保谷に瞽女が毎年来ていたという歴史を学び、越後瞽女の意志と芸を継承する講師の実演や語りから瞽女の暮らしや仕事ぶりを知ることができた。	小関敦子（越後瞽女唄演奏者）